

保持事業番号 17-71

補助事業名 平成17年度 北海道機械関連産業の活性・自立化による
地域再生推進補助事業

補助事業者名 財団法人 北海道科学技術総合振興センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

我が国経済は設備投資や輸出に支えられ、製造業等を中心に景気回復の兆しが見られるが、地方経済への波及は進まず、特に北海道経済にあっては最近の公共投資の大幅な減少傾向等と相俟って、依然として厳しい環境にある。また、これまで北海道経済を下支えしてきた公共事業関連予算にあっても、今後の見通しは極めて厳しい状況にある。

一方、北海道における機械関連等製造業は他産業への波及効果が大きいことから、経済の牽引役として期待されており、北海道経済の公共投資に依存しない自立的発展・再生を図っていくためには、機械関連産業の競争力強化を図ることが重要である。

しかしながら、北海道の機械関連産業は中小規模の企業が中心となっており、販売先の確保や市場競争力の強化などへの対応が大きな課題となっているほか、研究開発による新製品開発や新規事業への展開に当たっても開発リスクが大きく資金面の調達困難や開発研究テーマに関する企画力が脆弱など厳しい状況に直面している。

このような状況の中、北海道の機械関連産業を活性化し、持続的に発展し続けるためには、企業単独ではなく産学官連携による新製品開発や新規事業への展開をより積極的に取り組んでいくことが不可欠となっている。

このため産学官が一体となって、産業競争力の強化に資する研究開発を促進するための調査・検討を実施するとともに、北海道地域の技術・特色を活かした将来的に有望な産学官共同研究開発テーマを発掘し、競争的技術開発資金の獲得等に向けた検討及び研究開発後の事業化への支援を行い、北海道の機械関連産業の活性化、自立的・持続的発展に資する支援を目指す。

(2) 実施内容

製造業競争力強化事業

本事業では、生産管理技術や標準化が国内他地域と比べ大幅な遅れをとっている本道の中小製造業の競争力強化を目的として、製造現場の改善・改革に意欲的な企業経営者を対象に、指導経験豊富な講師による、生産管理技術・標準化等に関する講義、視察会、意見交換会等を実施した。

ナノテクノロジー技術開発促進調査事業

本事業では、大学・公設試・産業界等に加え科学技術コーディネータで構成する委員会でナノテクノロジーに関する北海道のポテンシャルや国内の技術開発動向・利用動向について調査するとともに、道内での今後の産学官連携方策や技術開発促進

する上での課題・問題点等について抽出し、具体的方策の検討を行った。

ものづくり産業高度化デザイン開発事業

本事業では、製造業者、デザイナー、有識者等による小委員会でもって具体的な製品デザインを検討し、小委員会を統合した委員会での共同作業を実施することにより、デザイン開発に必要なさまざまなノウハウを調査・検討した。

研究開発シーズ事業化推進事業

本事業では、実用化に向けた研究開発シーズに関して、技術の先端性や新規性、実現性及び市場性等について検討し、地域の企業との関わりの強い地方の産業支援機関の協力を得ながら発掘した17件の相談案件の中から、提案公募型研究開発事業へ10件、提案公募型以外の支援事業が適切なモノは、現段階での技術課題を提案するなど、マーケティング面も取り入れた、個別テーマに応じた直接的アドバイスを実施した。

技術開発事業案件ビジネス化推進事業

本事業では、これまで提案公募型研究開発事業で採択された案件等についてアンケート調査を実施し、ビジネス化する上での課題や問題点について評価・分析し、企業に対するヒアリング等を行い、要望があった企業5件を対象にアドバイスを行った。

また、アンケート調査の結果及びアドバイス事業の実施結果等をもとに、道内のものづくり産業の共通的課題を抽出し、その課題をテーマとしたセミナーを開催した。

2. 予想される事業実施効果

製造業競争力強化事業

自動車部品、農業機械、金属加工、鋳物、食品加工等様々な分野の製造業から、製造現場の改善・改革に意欲的な企業経営者等18名が参加の下、生産管理手法や人材育成方法等の勉強会を行ったほか、先進的な現場視察や意見交換会等を通じて自社のQDCのレベルアップやメンバー間のネットワーク形成を深めてきており、参加企業の新たなビジネスへの取組等が展開していくものと期待が高まっている。

ナノテクノロジー技術開発促進調査事業

ナノテクノロジーに関する北海道のポテンシャルや国内の技術開発動向・利用動向について調査し、道内での今後の産学官連携方策や技術開発向上する上での課題等について検討を進め、この検討された具体的方策に即して道内の大学・公設試等5機関を選定し、当該事業成果は引き継がれていくことになっており、道内ものづくり企業のナノテクノロジー活用が期待される。

ものづくり産業高度化デザイン開発調査事業

道内のモノづくり産業界にデザイン開発を意識化させ、市場拡大を図ることを目標に行ったことにより、経営者の認識が高まり、製品のデザインの検討をデザイナーを交えて実施した企業がでてきた等、その機運が着実に高まってきている。

研究開発シーズ事業化推進事業

本アドバイス事業は、道内7地域の支援機関から相談案件としてあがっており、

技術面、マーケティング面など、それぞれ個別の事業化を目指しているテーマについてアドバイス等を行った。このことにより、どの支援事業が活用できるのか、現在抱えている改題は、どこに相談に行けば良いのか、といった問題が解決されたものとする。

技術開発事業案件ビジネス化推進事業

今回対象となった案件を概観すると、機械工業関連中小企業が取り組んできた実用化研究開発事業のうちから、未だにビジネスに結びついていない事業について、その問題点、課題等を調査分析し、個別企業に対する具体的な事業化・ビジネス化を進めるための方策を検討・助言を行ったことによって早期の商品化・新規事業化に結びつもの期待される。

3. 本事業により作成した印刷物等

- ・ ナノテクノロジー技術開発促進調査事業委員会報告書
- ・ ものづくり産業高度化デザイン開発調査事業委員会報告書
- ・ 研究開発シーズ事業化推進事業委員会報告書
- ・ 技術開発事業案件ビジネス化推進事業委員会報告書

4. 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：財団法人^{ホッカイドウカクギジュツソウゴウシンコウセンタ}北海道科学技術総合振興センター

住 所：郵便番号 001-0021

札幌市北区北 21 条西 12 丁目北海道大学構内コラボほっかいどう

代 表 者：南山 英雄（ミナミヤマ ヒデオ）

担当部署：総務部

担当者名：竹中 護（タケナカ マモル）

電話番号：011-708-6525

F A X：011-708-6529

E - m a i l：m-takenaka@noastec.jp

U R L：http://www.noastec.jp/